



ジェンデメディカルジャパン株式会社

会社説明

1. 企業の沿革と立ち位置 振徳医療用品股份有限公司（以下、振徳医療）は、1994年の創業以来、30年近くにわたり医療用消耗品の分野で研鑽を積んできました。同社は中国・浙江省紹興市に本社を置き、当初は伝統的なガーゼや包帯の製造からスタートしましたが、現在では高度な創傷被覆材や手術用感控（感染制御）システム、家庭用ヘルスケア製品までを網羅する、中国A株上場の巨大医療機器メーカーへと成長を遂げました。

2. 主な事業領域と製品ポートフォリオ 振徳医療の事業は、大きく分けて「病院用医療ソリューション」と「家庭用健康用品」の二本柱で構成されています。

- **医療用敷料・創傷ケア:** 従来の綿製品に加え、ハイドロコロイドやフォームドレッシングなど、傷の治癒を促進する最新のバイオ材料を用いた製品を提供しています。
- **手術室ソリューション:** 手術用ガウン、ドレープ、手術キットなど、院内感染を防ぎ、安全な手術環境を構築するための消耗品を包括的に提供しています。
- **感染制御と防護:** マスク、防護服、消毒用品など、パンデミック以降さらに需要が高まった分野においても、世界水準の品質を誇る製品を大量生産・供給できる体制を整えています。
- **リハビリ・家庭用ケア:** スポーツサポーター、鼻腔洗浄器、ベビーケア用品など、一般消費者が日常的に使用する健康増進アイテムも展開し、ブランド認知度を高めています。

3. 技術革新と品質保証 同社は「イノベーション」を成長の原動力としており、独自のR&Dセンターを設置して数多くの特許を取得しています。品質管理においても、中国のNMPA認証のみならず、米国のFDA、欧州のCE、さらにMDSAP（医療機器単一監査プログラム）といった厳しい国際基準をクリアしており、その信頼性は世界各地の医療機関から高く評価されています。

4. グローバル展開と社会貢献 振徳医療の製品は、中国国内の数千の病院で使用されているだけでなく、欧米、アジア、アフリカなど世界70カ国以上に輸出されています。また、持続可能な発展（ESG）にも注力しており、環境に配慮した製造プロセスの導入や、地域社会への医療物資の寄付、従業員の育成支援など、企業の社会的責任を積極的に果たしています。

5. 今後のビジョン 「健康な生活を手の届くところに（Make healthy life accessible）」という企業理念のもと、振徳医療は今後、デジタルヘルスケアやスマート製造への投資を加速させる方針です。世界中の人々が、より高品質で安全な医療・健康製品を享受できる社会を目指し、中国から世界をリードするヘルスケアブランドへの飛躍を続けています。

会社概要

本社所在地

中国

事業内容

医療用敷料（ガーゼ、包帯等）、手術用消耗品、感染管理・防護製品、家庭用健康用品、リハビリ器具などの研究開発、製造、販売。

代表取締役

魯 建国

設立年

1994年

資本金

約2億6,600万人民币

従業員数

1,000人以上

URL

<https://www.zhende.com/>

オフィス情報

メインオフィス
〒1080075
東京都 港区 港南2丁目16番1号
品川イーストワンタワー7階
